



# すいか

苅田町青少年育成町民会議だより

大人が変われば、  
子どもも変わる。  
できることからはじめよう

「子どもは、社会を映す鏡」  
そんな考え方に立つてみると、  
私たち大人から、  
先にしなければならぬことが  
たくさんあります。  
まず、大人自身がかかわること。  
そして、  
子どもたちを温かく見守り、  
支えてあげること。  
さあ、はじめましょう。

町民会議 18年度1年間の活動

## “継続は、力なり”



第18回総会



第2回イカダ大会



フィールドビンゴ



子どもフェスティバル  
＜木工工作＞



オアシス人形劇



健全育成講演会



苅田町防犯パトロール隊  
(青パト) 出発式



「少年の日」夜間補導

心豊かで  
たくましい 青少年の育成を目指しましょう

# シンナー等薬物乱用防止講演会

と き：平成18年11月18日

ところ：苅田中・新津中体育館

## 《講演会に参加した生徒の想い》

私が薬物乱用防止講演会を聴いて思ったことは、薬物って本当におそろしいんだなあということ、使ったその人の人生を大きくくわせるんだなあ、ということ。講演をして下さった先生は、シンナーの乱用で目が見えなくなっていました。その他にも、普通見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりと言っていました。このような話は、実際よく聞いたことはあるけれど、本当にそうだった人を私はじめて見ました。そのことじたい私にとってはとても貴重なものでした。あとは、「自分が自分じゃなくなる」とも言っていました。そうい

## 薬物で光を失った 経験を、 乱用防止教育 視覚障害教育 に生かして

佐賀県立苅田中学校 牟田征二さん



う点で本当に恐いものなんだなあと思います。私は「薬物」なんて使用しないし、私には、全然関係ない！と思っていました。でも、先生の話聞いて人事ではないなと思いました。もしかしたら何かが原因で私も「薬物」に手を出してしまうかもとそんなことを少しだけ思ったりもしました。そんな時、周りの人（友達や家族）は、私を止めてくれるだろうか、私にあきれはててしまわなふと心をよぎりました。もし、そうなるってしまった時・・・と考え出すときりがなくて本当に恐いです。だから絶対に「薬物」には手を出さない。そう思いました。そして、誰からも誘われたりしても、きちんとことわる勇氣を持とう！とも思いました。こんなふうに使わせてくれた先生に「ありがとうございます」と言いたいです。

（新津中三年）

シンナーは、自分とはまったく無関係なものとして認識していて、私の周りにも吸う人なんていない、いるはずがないと思っていました。けれどこれから先、友達がその道に走ってしまうかもしれないし、私がそうなるかもしれないし、私が無関係とは言えないと実感させられました。でも、いくらこの勉強をしたって、いくら薬物は恐ろしいものだと言われても心のどこかでやっぱ

り関係ないと思っていた私には、今回の講演もどこか別の世界の人の話だと思っていました。

しかし、私と同じように無関係だと思っていた牟田さんは、シンナーの道に走って、失明してしまいました。私が今いくら無関係だと思っても、将来私もそうなる可能性は、ゼロとはいえません。だから他人事なんかじゃなく、私の周りでもシンナーを吸う人がでてるかもしれないということを感じておかなければならぬと思います。そして周りにシンナーを吸う人が出てきても、止められるくらい知識をもっておかなければいけないかと、痛感させられました。

これから先、また「薬物乱用防止」の学習があると思いますが、客観視せず、きちんと勉強して少しでも多くの知識を身につけていきたいと思っています。

（新津中二年）

今日の講演で更に薬物はおそろしいものだと思わされました。それと同時に薬物は私たちの身近な所に存在しているんだと思いました。講演をきく直前まで「私には一生関係ないし、そもそも手に入らない」と思っていました。

しかし、実際は、私たちが簡単に手に入れるものだったのです。牟田さんはシンナーによって視力を失ったそうですが私には信じられませ

## 白庭神社どんど焼き

2月12日補導環境部会・生徒指導研修部会では、毎年恒例になりました、特別補導を行いました。委員の方々の、あの力強く燃えさげる炎のような厳しく、そして優しい、とても熱意を感じました。



ん。ということは私はシンナーの怖さを知らないということです。牟田さんと同じ道を歩いてしまうというところもありえるわけです。

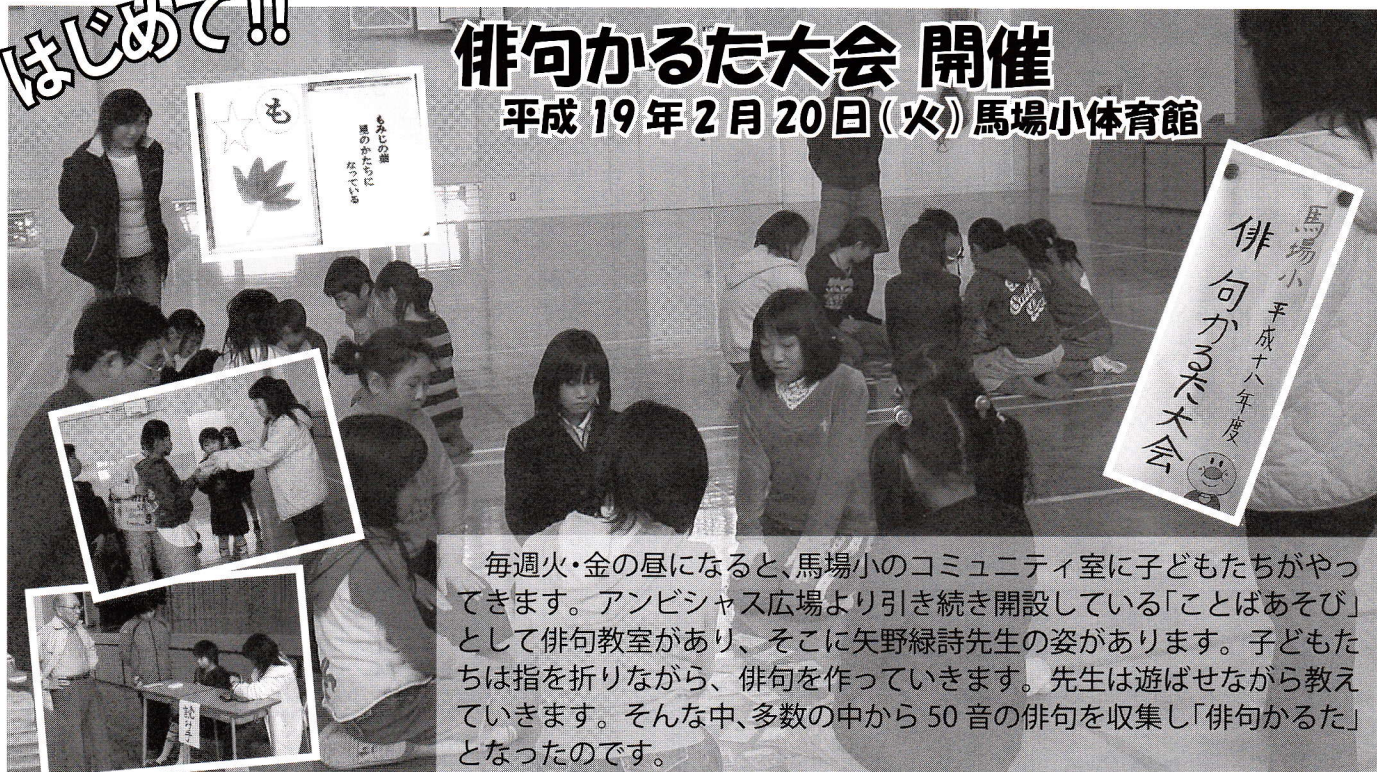
「一度シンナーを手にしてしまったら一生もん。」というようにさまざまな障害を抱えて行くのです。私には今考えている夢もありますし、志望校もあります。その夢をシンナーのせいであきらめたくありません。私には大切な家族がいます。その大切な家族をシンナーのせいであきらめたくありません。私には、長い人生があります。その長い人生をシンナーのせいであきらめたくありません。だから私は絶対に薬物には手を出しません。今日の講演で改めて思ったことです。

（原文のまま掲載しています。）  
（苅田中三年）

はじめて!!

# 俳句かるた大会 開催

平成 19 年 2 月 20 日 (火) 馬場小体育館



毎週火・金の昼になると、馬場小のコミュニティ室に子どもたちがやってきます。アンビシャス広場より引き続き開設している「ことばあそび」として俳句教室があり、そこに矢野緑詩先生の姿があります。子どもたちは指を折りながら、俳句を作っていきます。先生は遊ばせながら教えていきます。そんな中、多数の中から 50 音の俳句を収集し「俳句かるた」となったのです。

## バア～バアの一言 No.3

「人間は遊ぶ人種である」…と唱えている人を知っているかなあ～。人は、楽しいものや興味深いものには、すんなり、無理なく身に付き、豊かな心へと導いてくれます。

子どもたちは、遊びの中から自然に、自発性・忍耐・協調性を学習しているものです。また、それらを援助してやるのは、地域の人や大人の役目です。現在は、遊びの場、遊びの時間、遊ぶ友が失われつつあるので、意図的に体験の場をつくり学習させようとしています。

又、遊びの中には、生産的な労働がないと、達成感や喜びは、出てきません、学校教育が親には、肥大になっているのではないかと感じる人が多いです。生まれて生涯を終えるまで、社会教育や学習が続いている事を忘れていないでしょうか？しっかりと「やる木」を育てましょう。地域の人々と共に・・・。

子どもたちの五感をしっかり育て、六感、直感やアイデアを大いに引き出しましょう。六感の中には、創造性や危機感が潜んでいるのです。呼び起こしましょう。五感の育て方を考えてください。

ヒントは「あ・そ・び」です。



学力アップのときは、朝ごはんをしっかりと作りましょう。菓子パンは、おやつですよ。食べないのは、子の責任。子の責任を援助してやるのは、親の役目。お母さん、お父さんががんばりましょう。

## 子ども会をご存知ですか？

～新年度子ども会加入者募集のお知らせ～

各地区に、就学前 2 年幼児～中学 3 年生までの子どもたちで構成する会です。

地区毎に工夫を凝らし、お楽しみ会・クリスマス会・キャンプ・遠足などの企画をいています。

子ども会加入の手続き方法などの問い合わせ先はこちら↓



中央公民館第 1 会議室  
荻田町子ども会育成連合会  
☎ 090-4589-3200  
(田口まで)



✓ ↓ 夜須高原にて



## リーダーを育てよう！

ただいま募集中

リーダーを育てる活動を行なっています。いろんな体験をし、人とのふれあい・コミュニティ力や自発性を育てよう。また、自立の一步を促したいと思っています。(指導部 田口)

# 「家庭の日」・「オアシス運動」 町内入選者発表

※皆さん、入選おめでとうございます。 = 前号のつづき =

## お母さんの料理

与原小四年 三よし ひな子

私のお母さんが作る料理はすごくおいしくて、家族のみんなに大ひょうばんです。

お父さんは、夕ごはんになると、「おー。おいしい。ごはんを食べよう時が一番幸せ。」

「おいしい、おいしい。」

「世界で一番おいしい。」  
「おいしいながら食べます。するとお母さんは、

「ママっち、料理の天才かねえ。」  
とにこにしながら、ちよつと自まん気に言います。するとみんなも思わず笑ってしまいます。これがわが家の食事の風けいです。

お母さんは、夕方仕事から帰ってくる、とすぐ夕ごはんのじゅんびを始めます。台所から野菜を切る音が聞こえてくると、今日のメニューが何か気になります。そしてわたしはのどきに行ったり、味見に行ったり、時どきお手伝いをしたりします。この前は、お姉ちゃんといっしょにぎょうざの皮に具をつつみました。わたしがついたのは、ちよつと変な形なのでやき上がった、自分で作ったのが分かります。でもおとうさんが

「さやちゃんとひな子が作ったのはおいしいね。」  
ママのお手伝いが上手にできて、と言ってくれます。

これからお手伝いがんばって、大きくなったら今度はお父さんや、お母さんに、おいしい料理を作っておあげたいです。そしていつかわたしがお母さんになつたら、家族においしくて楽しい食事ができるようにしたいなと思います。

## 家庭の日

荻田小三年 吉川 大貴

ぼくの家は、父母兄妹の五人家ぞくです。お父さんが休みの日は、たまにキャッチボールをします。夏休みの間は、けつこう遊びに行きます。えい画やゲームセンターに行ったりします。お母さんは、いつも家のしごとで、たいへんそうです。

兄は、野球のぶかつを毎日がんばっています。兄ちゃんとは、よくケンカもします。でもゲームをしたりして、遊ぶ事も多いです。

妹は、一才の赤ちゃんです。赤ちゃんは、いろいろな物を、口に入れてよだれだらけにするけど、たくさんわらったりして、おもしろいです。

ぼくの家は、ほとんど毎日夜ごはんを、みんなで食べています。夜ごはんは、早い時もおそい時もあるという感じです。ごはんは、一人で食べるのと、みんなで食べるのは、みんなで食べるほうが、おいしいんだなあ、と思っています。夜はにぎやかで楽しいです。

たまに、みんなは、お父さんやお母さんをきらいなんて思っています。お金がないと、食べ物もなく、死んでしまいます。だから、お父さんやお母さんを、大事にしないとだめです。

夏休みに入る前に、むなかたのひいおばあちゃんが、死んでしまったので、夏休みになつてから、むなかたにたくさん行つたりしました。ひいおばあちゃんが死んで、みんなとても、かなしそうでした。ぼくもとても、かなしかったです。

天国のひいおばあちゃんに、心配させないように、これからは、家ぞくみんなでなかよくしていきたいと思っています。

永平 和久  
中一 廣瀬理子

幸福  
六年 大塚 仁美

太陽  
五年 中島 桃子

平和  
四年 湯越 梓

生き  
三年 千代丸 まき

ゆめ  
二年 やすのり

あい  
一 荻田小1年 いもとあかり

## 「あいさつ」の大切さ

南原小六年 久原 将史

ぼくは、三年生の頃までは、あいさつが苦手でした。友達には気軽にあいさつができるのに、道ばたで知っている人にあつた時などは、大きい声であいさつができずにいました。とてもはずかしかったからです。その頃、どうしてあいさつをするのかなと思っていました。あいさつなんか、別にどうでもいと思つていました。

でも五年生ぐらいの頃、ようやく気付きました。人間には言葉を使うことによって、おたがい心に心を通わせることができます。また、相手からもあいさつが返ってくると、とても気持ちがいいものです。

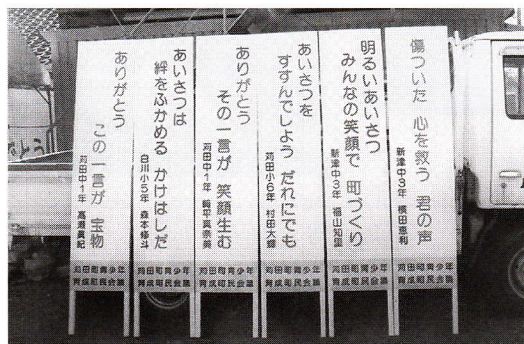
ぼくは、「オアシス運動」という言葉がとても好きです。「おはようございます」「ありがとう」「失礼しました」「すみませんでした」この四つの言葉は、人間関係をよりよくする、まほうの言葉です。ぼくは、「オアシス運動」によって、たくさんの人と仲よくしたいと思っています。

(作文は原文のまま掲載しています。)

## 18年度 県入賞者

部 門	賞	学校名	名 前
ポスター	奨励賞	荻田中1年	松 田 美 穂
"	奨励賞	荻田中3年	荒 巻 千 春
"	奨励賞	荻田中3年	嶋 村 あずさ
書 道	奨励賞	荻田小1年	いもと あかり

## 毎月第3日曜日は「家庭の日」



「家庭の日」・「オアシス運動」 看板を設置しました。

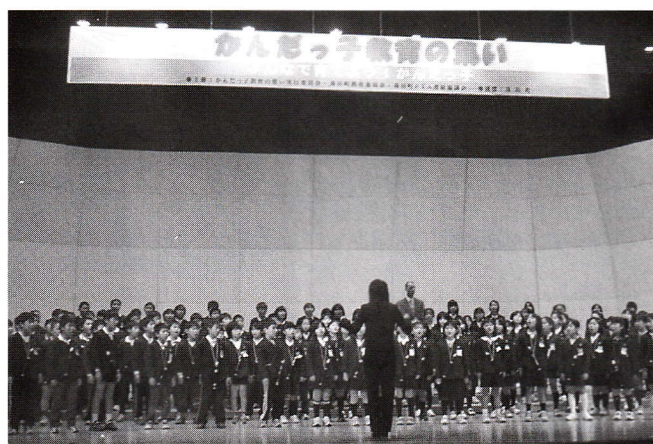
— 「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう —

# 「かんだっ子」教育の集い



昨年の暮れに「かんだっ子」教育の集いが開催されました。苅田町教育委員会通信「めだか」でも紹介され、みなさんもご存じとは思いますが、会場には多くの方が訪れ、小学校や中学校の生徒の活動を熱心にご覧になりました。

今年は苅田中の3年生の司会進行により、苅田中、与原小、白川小、苅田小の4校が日頃の授業や部活動などの成果を発表しました。

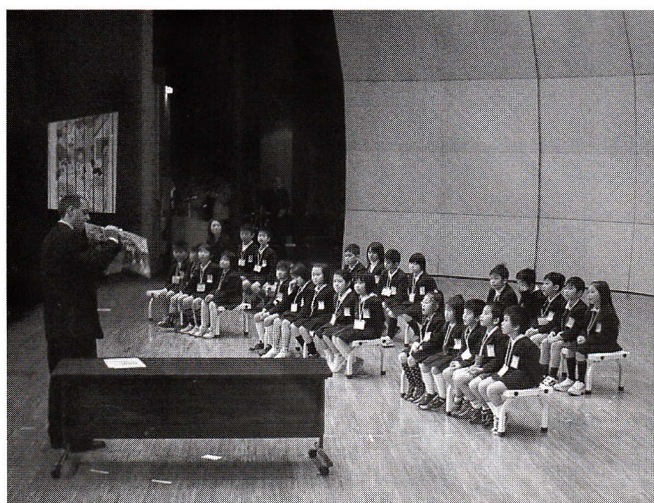


今年から苅田町では教育改革のひとつとして小学校にも体育や音楽の授業で専科指導が行われています。今回の「かんだっ子」教育の集いではそれぞれの授業の様子も発表されました。

体育の授業では子ども達のきびきびとした動きに、音楽の授業ではすばらしい合唱に会場のみなさんは、感心した様子でした。



苅田町の小学校では週1回英語活動が行われ外国語教育の環境も整えられています。左の写真は2年生の英語の授業の様子です。また地域のことを知るために「ふるさと学習」も行われています。下の写真は五穀豊穡を願う等覚寺の「松会」を舞う様子です。



# 地域の子どもは、地域で守り育てる 「地域のおじさん、おばさん」になってください。

「地域のおじさん、おばさん運動」の基本は、近隣の子どもたちと向き合い、温かく見守ろうという気持ちです。自分ができる身近なことからはじめましょう。

たとえば、  
こんなことからで  
いいんです

## ◆子どもたちに積極的に声かけをする

良い行いを目にしたときは、ためらわずに褒めてあげる。危険な遊びやルール違反には、見て見ぬふりをせずに注意しましょう。

- うちの地区は、大人も子どもも、交流が多いと思う。朝、学校に行くときは、「いってきます」「いってらっしゃい」。帰ってくるときは、「ただいま」「おかえりなさい」などの言葉がとびます。あいさつをすると気持ちがいいし、うれしくなります。(愛知県 中3)



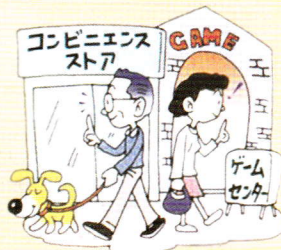
## ◆子どもたちの立場を考えてあげる

子どもが困っているとき、苦しんでいるときこそ、良き理解者、親身な相談相手でありたいもの。

- 私は、つらいことや悲しいことなど、お母さんに話します。お母さんはいつも私の立場になって考え、アドバイスをくれます。「〇〇が辛いときは、いつでもおいで。お母さんの相談窓口はいつもあいてます。」私は、この言葉にいつも救われます。(福島県 中3)

## ◆子どもたちを事故や犯罪などから守る

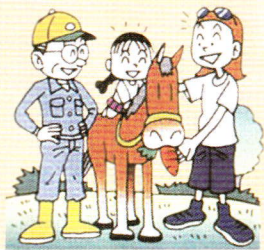
地域に事故につながる危険な場所はないですか。子どもを誘惑したり、犯罪に巻き込む恐れのある場所はありませんか。そういった観点から地域の環境を再点検してください。



子どもたちの安全・安心を確保する「子ども110番の家」や「地域パトロール活動」等を強化しましょう。

## ◆情愛の気持ち・独立心を育てあげる

友だちとの遊び、自然や動植物とのふれ合い、異年齢グループの中での活動などは、健やかな心や体を育てるうえで欠かせない体験です。



子どもたちがのびのびと活動できる機会を積極的につくってあげましょう。

## ◆良いことは率先して行う

- 私達は大人の背中を見て成長して行きます。大人がきちんとした行動をとっていなければ、その姿を見て育った私達もその大人のようにになってしまうと思います。これから先、「いい生き方」をしている大人に出会えたらいいなと思います。(福島県 高1)

社団法人「青少年育成国民会議」では、全国の都道府県民会議や市町村民会議、青少年関係団体とともに、「青少年の心を育てるキャンペーン」を展開中です。



すこやか編集委員会の様子

町民の皆様へ、各種行事の報告など解かりやすく、読んでいただけるように努力しております。

三役・部会長会議の様子

真剣な討議を重ねております。



## 役員会

荻田町青少年育成町民会議では、年間の行事や身近な問題など推進・具体化していくため、役員会を開催しております。



## 編集後記

先日、町のふれあいマラソン大会の手伝いをする事になりました。それぞれのコースを走った後、真っ赤な顔をして、豚汁をおいしそうに食べ、おかわりをしてくる子どもたち…。

元気で健やかに育ってほしいと願って「いっぱい食べてね」と声をかけながら、子どもたちから元気をもらった気がします。

この子どもたちのためにも将来に希望がもてる社会になってほしいと祈りながら暖かな春の一日に感謝して帰路につきました。

石田正枝

## 平成18年度すこやか編集委員

編集長 石田 正枝

庄野 和子

荒鬼 文子

松枝 玲子

金丸 晴樹

三浦 豊

## 編集・発行

荻田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎093・434・9838